令和８年度　地方分権改革の旗手会議（オンライン）の概要

第一部　全体会議
【開催方法】YouTubeによる動画配信
【視聴期間】令和８年８月25日（火）～９月25日（金）

第二部　旗手交流会
【日　　時】８月25（火）、26日（水）、27日（木）、31日（月）
【開催方法】オンライン開催（会議ツール：Zoom、Webex）
【参加人数】26名（Web開催）

○第一部　全体会議（対面開催の全体会議を撮影して配信）

対面開催の全体会議（内閣府からの説明、地方公共団体による事例紹介）の様子を撮影して、Youtubeによる動画配信を行いました。



参加者の声

- 分権担当課目線と併せ、事業担当課目線からの事例紹介を聞く機会が増えるといいなと思います。提案が実現して業務がどのように改善されたかを知ることができると励みになる。
- 普段はなかなか関わる機会のない他自治体の分権担当者の方々と、それぞれの思いや課題感を共有できたことが有意義でした。
- 普段感じてる課題を他団体と共有できたほか、内閣府の方とも率直なお話ができたのがよかった。
- 他の団体の状況を聴くことができる貴重な機会であり、今後も継続した開催をお願いしたい。
- 前向きな業務に時間を使い皆が取り組んでいることは改めて良いと思った。
- 今後も、いい取り組み事例などがあれば、内閣府から共有して欲しい。

主な発言

- 無駄な業務をなくさないと仕事が回らなくなるとの問題意識で注力している。
- 各部署で日々交わされている課題（愚痴等）について、「分権提案という手段がある」と知ってもらうことが大事だと感じている。
- オンラインの研修会を開催している。内閣府による講義、県からの説明に加え、代表市町から実際の取組事例を紹介してもらい、県・市町で連携が取れるような取組を行っている。
- 提案が多い都道府県に取組を聞いたところ、①独自のアンケート・調査からアイデアを拾い上げる、②毎年の国への要望活動をベースに制度改正要望から拾う、という二パターンがあった。

旗手交流会の様子





